



小林潤志郎

小林潤志郎 (こばやし・じゅんしろう)
1991年6月11日生まれ 30歳
雪印メグミルク(盛岡中央高～東海大)

主な成績
2010年 世界ジュニア選手権
複合個人スプリント 優勝
2017年 ワールドカップ ヴィスワ
(ポーランド)大会 優勝
2018年 平昌オリンピック出場
NH31位 LH24位
2019年 ノルディック世界選手権
男子団体LH 銅メダル

写真提供:雪印メグミルク



小林諭果

小林諭果 (こばやし・ゆか)
1994年5月16日生まれ 27歳
CHINTAI(盛岡中央高～早大)

主な成績
2015年 冬季ユニバーシアード
混合団体 金メダル
2017年 冬季ユニバーシアード
女子団体 NH金メダル

©岩瀬孝文



小林陵侑

小林陵侑 (こばやし・りょうゆう)
1996年11月8日生まれ 25歳
土屋ホーム(盛岡中央高)

主な成績
2016年 世界ジュニア選手権
個人NH銅メダル
団体NH銅メダル
2018年 平昌オリンピック出場
NH7位 LH10位 団体6位
2019年 ノルディック世界選手権
男子団体LH 銅メダル
2018-19年 ワールドカップ総合優勝
(シーズン13勝)

写真提供:土屋ホーム



小林龍尚

小林龍尚 (こばやし・たつなお)
2001年8月10日生まれ 20歳
土屋ホーム(盛岡中央高)

主な成績
2019年 インターハイ
スペシャルジャンプ準優勝
全日本ジュニア選手権優勝

写真提供:土屋ホーム

小林きょうだいのジャンプの歴史は、長男の潤志郎が小学1年の冬にさかのぼる。父の宏典氏に連れられて八幡平市田山のジャンプ台を訪れた潤志郎は、ある中学生の豪快なジャンプに心を奪われる。この中学生ジャンパーこそ、後にオリンピックとなる永井秀昭さんの兄で、自身も岩手県ノルディック界のレジェンドとなる永井陽一さんだった。ノルディック王国・岩手の歴史の重みを感じるエピソードだ。

高価なジャンプ板を買うだけの経済的余裕がなかった当時の小林家では、潤志郎のために自宅の庭に小さなジャンプ台を作った。普通のスキーで遊ばせた。間もなく弟や妹も兄の真似をして遊び始めるようになる。長男の潤志郎が初めて本格的なジャンプ板を手に入れたのは、永井氏との出会いから3年を経た小学4年の時だったという。競技を始めた潤志郎はあっという間に頭角を現すことになる。盛岡中央高校3年の時には世界ジュニア選手権複合個人スプリ

ント優勝の快挙を遂げる。続く陵侑も負けてはいない。兄の潤志郎が活躍する一方で、その2年後には全中でジャンプと複合の二冠を達成した。潤志郎と陵侑が小林兄弟として注目され始めたのはこの頃からだった。

陵侑の人柄を表すエピソードとして印象に残るのは、母校松尾中学校で行われた優勝報告会だ。「自分に関わってくださった方への誰一人欠けても、この結果はなかったと思います」と述べている。

誰もが認める天才肌で自由奔放な性格だが、周囲への感謝の気持ちは世界の舞台で活躍する今も変わらない。これは陵侑に限らず小林きょうだいの全員にいえることかもしれない。

潤志郎の3歳下の論果、10歳下の龍尚を含めた4きょうだいはいずれも地元盛岡中央高で育てられるが、卒業後は故郷を離れそれぞれが選んだ道歩んでいる。

潤志郎は東海大学から名門雪印メグミル

クに進むが、陵侑は大学に進学せず、憧れの葛西紀明氏が選手兼監督を務める土屋ホームに入社する。

先にワールドカップ優勝を果たしたのは潤志郎だったが、2018年平昌オリンピックを境に形勢は逆転し、陵侑は翌2018-19シーズンのワールドカップで13勝を挙げて総合優勝を飾る。

「いつか弟に抜かれるかもという予感はずっと持っていました。陵侑は想像以上の次元に到達してしまいましたね。彼は勇気・瞬発力・環境適応能力などジャンプに必要なすべてを備えた素晴らしい選手だと思います。今の僕にとって、ライバルというよりは目標ですね」

潤志郎の謙虚さを差し引いても、陵侑の強さは別格のようだ。

潤志郎・陵侑の二人に挟まれた論果も、早稲田大学在学中に冬季ユニバーシアード団体で二度の優勝を果たしたトップジャンパーだ。卒業後も同じコーチのもとで競技



練習の合間の小林家一家団らん。左から父宏典氏、論果、潤志郎、龍尚、陵侑、母智恵さん。2007年、鹿角市花輪スキー場にて

写真提供:小林宏典氏

Eight Olympians Project Vol.27
[エイト・オリンピックス・プロジェクト]

TOKYO2020へ、そしてその先に

Presented by 盛岡広域スポーツコミッション

盛岡市 八幡平市 滝沢市 早石町 葛巻町 岩手町 紫波町 矢巾町

盛岡広域スポーツコミッションの情報はこちらから

北京、そしてコルティナの空へ

2022北京冬季オリンピックがやってくる。小林潤志郎、陵侑兄弟揃っての活躍が期待される中、もう一つジャンプ界が注目する諭果、龍尚を含めた“小林4きょうだい”の歴史にスポットを当ててみた。

取材・文●盛岡広域スポーツコミッション

スキー
ジャンプ

北京冬季五輪 にかける エトオリンピックズたち



永井秀昭

スキコンバインド

今年は怪我が多く、やりたい練習が消化出来ないオフシーズンを過ごしました。過去2回のオリンピックではメダル獲得が出来ずに終えています。今回こそは個人戦8位入賞、団体戦メダル獲得を目指します!



オーストリア・ラムゾーの日本代表合宿にて (写真は本人提供)

profile ● 永井秀昭 (ながい ひであき)
1983年9月5日生まれ 38歳 八幡平市出身
盛岡南高、早稲田大学を経て岐阜日野自動車に所属
2014ソチ、2018平昌五輪連続出場



小西あかね

アイスホッケーIGK

北京冬季オリンピックへの抱負は、正GKになること。みんなが安心して攻めていけるように、そしてチームの流れを変えられるプレーをしていきたいです。第二の故郷・岩手のためにこれからも頑張っていきます!



女子日本アイスホッケーリーグ (苫小牧市 白鳥王子アイスアリーナにて) (写真提供:SEIBUプリンスラビッツ)

profile ● 小西あかね (こにし あかね)
1995年8月14日生まれ 26歳 釧路市出身
SEIBUプリンスラビッツ(株) 久慈設計 所属
2014ソチ、2018平昌五輪連続出場



Ryoyu

写真提供:土屋ホーム



Junshiro

写真提供:雪印メグミルク



Tatsunao

写真提供:土屋ホーム



Yuka

©岩瀬孝文



4人揃って出場した全日本選手権のあと、札幌市内にある潤志郎馴染みのなぎ屋さんに集合。美味しい料理と楽しい会話でこの笑顔だ(2021年10月)

写真提供:小林諭果さん

を楽しんでほしいと思います。そうすれば結果はきつとついてくるはずですよ」
4年後のコレイナまで続く小林きょうだいの世界制覇への挑戦が、いよいよ幕を開ける。
ワールドカップ転戦中の潤志郎と陵侑について、論果はこう語ってくれた。「北京オリンピックでは日丸の重圧はあると思いますが、何よりも4年に一度の夢の舞台
後、久しぶりにきょうだいが潤志郎と陵侑に
染みのうなぎ屋さんに集まった。ライバル
チームに所属している関係上ジャンプの話
はNGなのだが、昔話や近況報告などたわ
いのない話題で盛り上がり、とてもリラッ
クスした時間を過ごしたという。トップア
スリートとして厳しい勝負の世界に身を置
く4人だが、きょうだいの絆が互いを支
え合い、高め合っている。
10月に札幌で行われた全日本選手権の
後、久しぶりにきょうだいが潤志郎と陵侑に
染みのうなぎ屋さんに集まった。ライバル
チームに所属している関係上ジャンプの話
はNGなのだが、昔話や近況報告などたわ
いのない話題で盛り上がり、とてもリラッ
クスした時間を過ごしたという。トップア
スリートとして厳しい勝負の世界に身を置
く4人だが、きょうだいの絆が互いを支
え合い、高め合っている。

を続けるため、東京を拠点とする(株)CH
INTAIを選ぶ。
社会人5年目を迎えた今季はこれまでで
最も調子が良かったが、残念ながら海外遠
征メンバーから外れてしまう。
「気持ちに切らさず、1月に行われる札
幌、蔵王のワールドカップで成績を残し、
オリンピック出場の可能性にかけたいと思
います」
北京冬季オリンピック出場が確実視され
る陵侑と潤志郎、わずかながら可能性を残
す論果に対し、末っ子の龍尚は4年後に捲
土重来を期すことになりそうだ。
ジャンパーとしての高い潜在能力を認め
られ、陵侑と同じ土屋ホームに入社した龍
尚。高校までの実績では二人の偉大な兄に
遠く及ばないが、潤志郎の言葉を借りると
「身長が高く、足も長い。運動能力も高く
何年後かに代表入りする可能性は十分あり
ます。うーん。あとは、ジャンプに打ち込
む『覚悟』でしょうか」ということのようにだ。
10月に札幌で行われた全日本選手権の
後、久しぶりにきょうだいが潤志郎と陵侑に
染みのうなぎ屋さんに集まった。ライバル
チームに所属している関係上ジャンプの話
はNGなのだが、昔話や近況報告などたわ
いのない話題で盛り上がり、とてもリラッ
クスした時間を過ごしたという。トップア
スリートとして厳しい勝負の世界に身を置
く4人だが、きょうだいの絆が互いを支
え合い、高め合っている。